

## 令和3年度佐賀大学一般選抜入学試験 個別学力試験

科目： **国語（教育学部・前期）**

### 1. 科目全体の出題意図

本年度も現代文、古文、漢文から各一問ずつの出題とした。どの問題も高等学校で学習する内容（高等学校学習指導要領に示された指導事項）から出題し、国語の基礎的知識とその応用力を問うものとした。

現代文は、ハンディキャップをもつ人の身体や生活に取材した二編の評論を題材とし、漢字や語句の理解力、文章の解釈や自分の考えの形成に関わる思考力、読み取ったことを適切に構成し記述する表現力を問うことを意図して出題した。

古文は、中世の軍記物語を題材として、基本単語の意味や文法事項など高等学校で学習する基本的な事項を習得しているか、登場人物の心情や行為の理由など内容を正確に読み取ったうえで読解する力が養われているか、などを問うことを意図して出題した。

漢文は、随筆的な散文を題材とし、高等学校までに学習する漢語語彙の読み方や意味を理解しているか、基礎的な漢文句型の訓読と解釈ができるか、また文脈の流れを正確に把握できるか、などを問うことを意図して出題した。

### 2. 設問ごとの出題意図

#### 【一（現代文）】

現代文は、ハンディキャップをもつ人の身体や生活に取材した二編の評論（伊藤亜紗「記憶する体」、同「目の見えない人は世界をどう見ているのか」）を題材とし、漢字や語句の理解力、文章の解釈や自分の考えの形成に関わる思考力、読み取ったことを適切に構成し記述する表現力を問うことを意図して出題した。

#### 【二（古文）】

古文は、室町時代の軍記物語『太平記』を題材として、高等学校で学習する基本単語の意味や文法事項などの基礎力を問うとともに、内容理解に関わる設問を設け、文章で描かれた出来事や人物の心情を正確に読み取る力を問うことを意図して出題した。

#### 【三（漢文）】

漢文は、『閑情偶寄』所収の文章を題材とし、漢文に関わる必要な基礎知識を習得しているか、またその知識を活用して平易な文を読み解き、文脈の流れや全体の主旨を把握できるか、などを問うことを意図した。